

感染症情報 7月29日～8月4日

府下小児科197医療機関(堺市19)から

①手足口病	1,197例	(堺市 100例)
②感染性胃腸炎	588例	(堺市 31例)
③溶連菌感染症	355例	(堺市 61例)
④ヘルパンギーナ	234例	(堺市 13例)
⑤RSウイルス感染症	199例	(堺市 24例)

府下306医療機関(堺市29)から

インフルエンザ 139例(堺市 17例)

報告数による順位。前週比12.3%減の2,770件であった。手足口病が府下で18%減、堺市で前週123例→今回100例であった。大阪府の定点あたりは7.45→6.08、堺市は6.47→5.26であった。ピークは越えつつある。感染性胃腸炎が府下で前週から5%減、堺市で前週41例→今回31例。溶連菌感染症が府下で13%減、堺市で前週52例→今回61例。ヘルパンギーナが府下で8%減、堺市で25例→13例であった。RSウイルス感染症が府下で8%減、堺市で前週12例→今回24例であった。

基幹定点だけ報告するマイコプラズマ肺炎が大阪府58→70例は2016年以来の報告数の増加とある。堺市10→18例であった。

インフルエンザが府下で前週138例→今回139例で1例増であった。堺市で前週14例→今回17例であった。

府下306医療機関(堺市29)から

新型コロナウイルス感染症 3,924例(堺市 529例)
大阪府定点 12.82 堺市定点 18.24

大阪府の年齢層別の報告数											
0歳	1歳から4歳	5歳から9歳	10歳から19歳	20歳から29歳	30歳から39歳	40歳から49歳	50歳から59歳	60歳から69歳	70歳から79歳	80歳以上	合計
177	335	233	428	326	360	378	478	331	444	434	3924

新型コロナウイルス感染症の定点報告は、大阪府で前回4,486例→今回3,924例で13%減、定点あたり14.66→12.82。堺市で前週591例→今回529例は10%減、定点あたり20.38→18.24で、大阪府のブロック別で2週連続ワーストであった。

麻疹なし。風疹1例あり。(神戸市で8月5日麻疹1例報告あり)